

☆人事異動 一 新年度となり、当所では次のとおり異動がありました。

転入

直原 良子(副主査獣医師)

4月から当検査所に配属になりました。昨年度まで岡山市保健所衛生検査センターで食品・感染症・環境に関する微生物検査業務を担当していました。17年ぶりのと畜検査業務でスピードに圧倒される毎日です。できるだけ早くお役に立てるよう頑張りますので、ご指導よろしくお願いします。

味埜 圭祐(副主査獣医師)

4年ぶりに食肉衛生検査所に配属になりました。昨年度までは、岡山市保健管理課生活衛生係で、動物愛護管理等に関する業務を担当していました。

はやく作業に慣れるようにがんばりたいと思います。よろしくお願いします。

新規採用

瀬尾 彩文(獣医師)

3月に大学を卒業し、4月から当検査所に配属になりました。と畜検査業務に携わるのは初めてです。最初のうちは何も分からず皆様にご迷惑をおかけすると思いますが、一日も早くお役に立てるよう頑張りますので、ご指導のほどよろしくお願いします。

転出

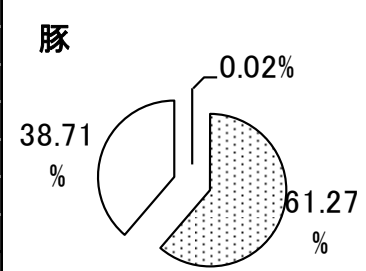
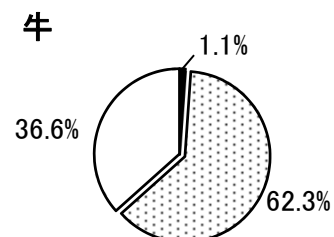
武本 晋哉 (岡山市保健福祉局 保健福祉部 保健管理課 生活衛生係)

山本 由紀 (岡山市保健福祉局 保健所 衛生課 食品衛生係)

☆と畜検査状況

◎と畜検査頭数および廃棄の原因 (令和4年1月~3月)

畜種	牛		とく		豚		山羊	
	と畜検査頭数							
と畜検査頭数	1,169		7		15,940		2	
廃棄の区分	全部廃棄	一部廃棄	全部廃棄	一部廃棄	全部廃棄	一部廃棄	全部廃棄	一部廃棄
実頭数	13	728	0	7	3	9,766	0	1
廃棄の原因	放線菌症	0	3	0	0	0	0	0
	ミコバクテリウム症	0	0	0	0	0	95	0
	ジストマ	0	0	0	0	0	0	0
	寄生虫症	0	0	0	0	0	0	0
	膿毒症	1	0	0	0	3	0	0
	敗血症	2	0	0	0	0	0	0
	尿毒症	1	0	0	0	0	0	0
	黄疸	2	0	0	0	0	0	0
	水腫	3	125	0	1	0	45	0
	腫瘍	0	0	0	0	0	0	0
	炎症汚染	0	497	0	4	0	6,090	0
	変性萎縮	0	377	0	7	0	4,300	0
	牛伝染性リンパ腫	4	0	0	0	0	0	0
豚丹毒	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	125	0	1	0	1,232	0	
計	13	1,127	0	13	3	11,762	0	



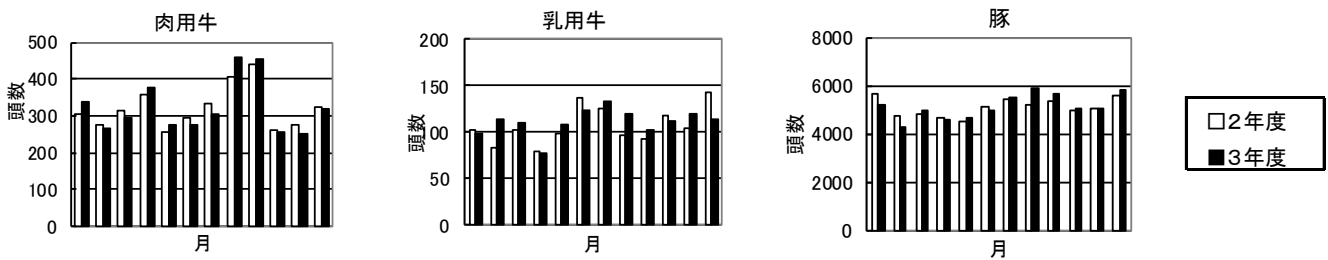
一部廃棄は原因が複数にわたる場合があり、廃棄の原因の合計が実頭数を上回ることがある。

■ 全部廃棄 ▨ 一部廃棄 □ 廃棄なし

◎と畜検査頭数の推移（令和3年度）（とくを除く）

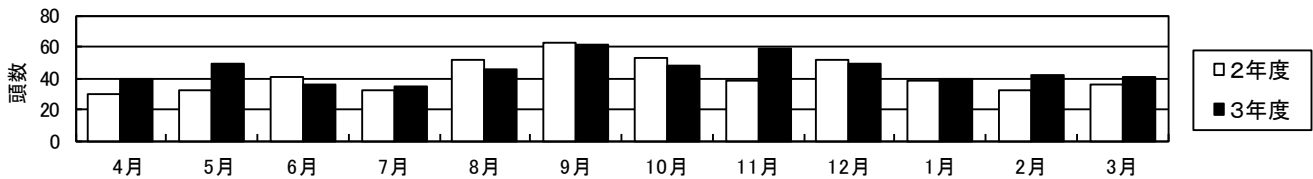
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2年度肉用牛	304	275	315	357	258	295	332	408	439	260	276	324	3,843
3年度肉用牛	338	266	293	379	276	274	305	461	454	257	252	317	3,872
前年比(%)	111.2	96.7	93.0	106.2	107.0	92.9	91.9	113.0	103.4	98.8	91.3	97.8	100.8
2年度乳用牛	101	82	102	78	98	137	124	96	92	117	103	143	1,273
3年度乳用牛	98	114	109	76	108	122	132	119	101	111	118	114	1,322
前年比(%)	97.0	139.0	106.9	97.4	110.2	89.1	106.5	124.0	109.8	94.9	114.6	79.7	103.8
2年度豚	5635	4711	4847	4705	4482	5111	5432	5180	5403	4991	5067	5578	61,142
3年度豚	5244	4260	5006	4573	4657	4995	5521	5879	5658	5094	5023	5823	61,733
前年比(%)	93.1	90.4	103.3	97.2	103.9	97.7	101.6	113.5	104.7	102.1	99.1	104.4	101.0

肉用牛は黒毛和種、交雑種等、乳用牛はホルスタイン種、ジャージー種等である。



◎病獣畜と畜検査頭数（令和3年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2年度	30	32	41	32	52	62	53	38	52	38	32	36	498
3年度	40	49	36	34	46	61	48	59	49	39	42	41	544
前年比(%)	133.3	153.1	87.8	106.3	88.5	98.4	90.6	155.3	94.2	102.6	131.3	113.9	109.2



1月～3月の病獣畜122頭の内訳は、牛およびとくが121頭、豚が1頭であった。

◎時間帯別病獣畜と畜検査頭数（令和4年1月～3月）

受付時間	頭数	うち緊急性		頭数割合(%)
		なし	あり	
(時間外)6:00～8:30	3	3	0	2.5
(時間内)8:30～14:00	119	115	4	97.5
(時間外)14:00～16:00	0	0	0	0.0
16:00～20:00	0	0	0	0.0
土曜日等	0	0	0	0.0
合計	122	118	4	

※土曜日等に病獣畜が搬入されるのは、死に瀕している等、緊急性を要する場合のみである。

◎地域別病獣畜と畜検査頭数（令和4年1月～3月）

地域	岡山	東備	倉敷	井笠	高梁	阿新	真庭	津山	勝英	県外	場内	計
頭数	14	5	2	81	7	3	0	2	2	4	2	122
(うち時間外)	0	0	0	(1)	0	0	0	0	0	(2)	0	(3)
頭数割合(%)	11.5	4.1	1.6	66.4	5.7	2.5	0.0	1.6	1.6	3.3	1.6	

☆検査室等における精密検査（令和4年1月～3月）

畜種	疑頭数	疾病名	検査件数						診定頭数	否診定頭数	
			肉眼	鏡検	培養	血清反応	理化学	遺伝子			病理組織
牛及びとく	2	敗血症			17				2	0	
	1	膿毒症	1						1	0	
	1	尿毒症					1		1	0	
	2	高度の黄疸					2		2	0	
	3	高度の水腫	3						3	0	
	4	牛伝染性リンパ腫					4	37	4	0	
	0	腫瘍の多発							0	0	
	13	計	4	0	17	0	7	0	37	13	0
	豚	0	敗血症							0	0
3		膿毒症	3						3	0	
0		尿毒症							0	0	
0		高度の黄疸							0	0	
0		高度の水腫							0	0	
0		豚丹毒							0	0	
0		白血病							0	0	
3		計	3	0	0	0	0	0	0	3	0

解体検査で判定困難な疾病について、精密検査を実施し、食用の適否を判定している。

◎残留有害物質検査（令和4年1月～3月）

・保留畜・病畜スクリーニング

畜種	区分	検査頭数	検査検体数	陰性頭数	陽性頭数	陽性検体数					陰性検体数
						筋肉	腎臓	注射痕	乳房	その他	
牛・とく	保留	2	4	2	0	0	0	0	0	0	4
	病畜	120	240	119	1	0	1	0	0	0	239
豚	保留	5	10	5	0	0	0	0	0	0	10
	病畜	1	2	1	0	0	0	0	0	0	2
山羊	保留	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	病畜	2	4	2	0	0	0	0	0	0	4

病畜牛の腎臓1検体において、直接法陽性であった。

・一般畜モニタリング

畜種	検査頭数	検査検体数	陰性頭数	陽性頭数
牛	6	12	6	0
豚	24	48	24	0
鶏	0	0	0	0

◎BSE（牛海綿状脳症）スクリーニング検査

令和4年1月～3月におけるBSEスクリーニング検査数は0件であった。

（平成29年4月1日以降、月齢24か月以上で、原因不明の神経症状及び起立不能を呈する牛を対象に実施）

発行：岡山市食肉衛生検査所
 TEL: 086-272-8399 FAX: 086-273-2019
 E-mail: shokunikuiseiseikensasho@city.okayama.lg.jp
 郵送停止、メール配信希望等、ご要望ございましたら、お気軽に担当までご連絡ください。
 1～3ページについて、ホームページでも公開しています。
<https://www.city.okayama.jp/0000022033.html>